

今回の  
研修場所

# 「にい はる」新治市民の森」

指定面積が約68haもあり、市内2番目の大きさを誇る市民の森です。里山や谷戸の風景が残されており、四季折々の風景を見ることができます。

北側には「にい はる里山交流センター」があり、ウェルカムセンターとして市民の森や自然の情報等の発信を行うだけでなく、自然観察や里山の暮らしを体験する教室などを催しています。



**所在**  
緑区新治町、三保町

**アクセス**  
JR 横浜線十日市場駅南口より徒歩15分

**駐車場**  
市民の森駐車場  
(愛護会が管理している駐車場です。)  
土、日、祝のみ利用可/  
利用時間:午前9時～午後5時

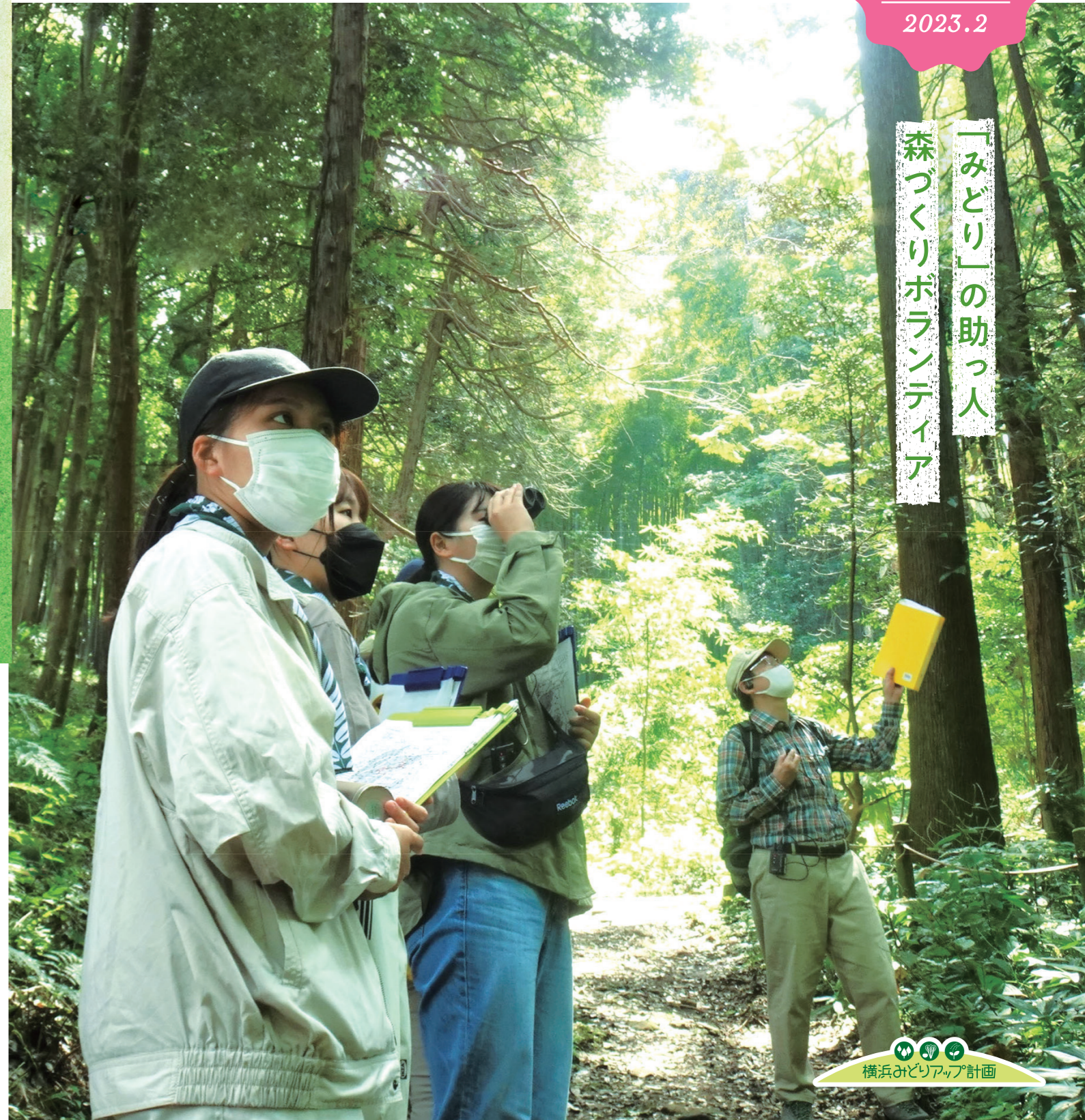
◀ 散策マップはこちら  
[新治市民の森愛護会]ホームページ  
<http://niiharu.la.cocacn.jp/map/index.html>



横浜みどりアップ計画  
市民推進会議広報誌

# Yokohama みどりアップ Action

市民が発信  
Vol.8  
2023.2



「みどり」の助っ人  
森づくりボランティア

## 「森づくりボランティア活動証明」配付中

実際の森で樹木の手入れなどの活動を体験できる「森づくり体験会」を定期的で開催しています。

森づくり体験会に参加すると、ボランティア活動した証明として「森づくりボランティア活動証明」カードがもらえます!

森づくり体験会の詳細・申込はこちら

[NPO よこはま里山研究所NORA]ホームページ  
<https://nora-yokohama.org/join/?cat=154>



### 横浜みどりアップ計画とは?

緑豊かな環境を将来に残すために、市民と一緒に緑を守り、つくり、育てていく計画。財源の一部として、「横浜みどり税」を活用しています。

### 横浜みどりアップ計画 市民推進会議とは?

横浜みどりアップ計画について評価、提案、市民への情報提供をする、市民参加の組織です。

### Yokohama

### みどりアップActionとは?

みどりアップの現場を市民目線でレポートし、その場へ「行ってみよう」「見つけてみよう」と思えるような緑の魅力をお伝えします。私たち市民委員と一緒に緑のAction(行動・活動)を起こしましょう!!  
※令和元年度に「みどりアップQ」からリニューアルしました。

### ご意見・ご感想を お待ちしております!

みどりアップActionについて、ご意見・ご感想、取り上げてほしい特集テーマなどのご要望をお待ちしています。いただきましたご意見・ご要望は、今後の発行の参考にさせていただきます。

市民推進会議広報誌



詳しくは  
こちら!



YokohamaみどりアップAction 第8号  
(旧みどりアップQ) (市民推進会議広報誌第43号) 令和5年2月発行  
編集: 横浜みどりアップ計画市民推進会議広報・見える化部会  
発行: 横浜みどりアップ計画市民推進会議事務局

問合せ  
横浜市環境創造局政策課(事務局)  
TEL: 045-671-4214 FAX: 045-550-4093  
E-mail: ks-mimiplan@city.yokohama.jp



横浜みどりアップ計画



①森歩き、②「森の断面図」実習の様子、③樹木の説明



④森づくり体験(伐採)、⑤森づくり体験(除草)

## 参加のきっかけは？

- 育てくれた横浜の森への恩返しのため！
- 生まれ育った横浜の自然について知りたかった。
- 社会経験の一環に。
- ボランティアをしたいと思っていて、たまたま森に興味があったので。
- 里山や動植物に興味があって。
- もっと森への知識を深めたい！
- 森の保全管理方法を学びにきました。
- 気候変動を止めるために何かしてみたい。
- などなど

## 参加してみよう！

- 実際の森の中で、森や植物の話聞いて勉強になった。
- 今後の課題などを知ることができた。
- 活動の幅が広いので楽しく活動できそう。
- 講義で聞いたことをすぐ観察できる機会は貴重。
- 森を歩くことで整備していることに気づけた。
- 森林を大切にしていきたい気持ちが強くなりました。
- などなど

# 「横浜の森」を感じる

横浜の森は、愛護会や森づくりボランティアを始め、多くの人々の支えがあって維持管理されています。森を育む担い手の人材育成を行っている研修は内容もレベルも様々ですが、今回は、数ある研修の中でも初心者向けのふたつの「森づくり研修」についてご紹介します。

文:奥井奈都美、高田房枝

## まずはここから「森づくりボランティア入門講座」

「森づくりボランティア入門講座」は事前のオンライン講座、横浜の森に詳しい講師による座学、実際に森を歩きながら生態系や保全計画を学ぶフィールドワーク、そして道具の使い方や森づくりを体験する2～3日の講座です。「横浜の森ってどんなところ?」「森づくりって何をやるの?」「森づくりに参加してみたい」などの声に応える研修講座です。

令和4年10月上旬に緑区の「にいほる里山交流センター」で開催された講座の1日目に同行し、「横浜の森づくり」に関心を持った20代から60代までの14名を取材しました。参加者は環境を学んでいる大学生や、森づくりボランティアを経験されている方など、中には県外からお越しの方もいました。

講座では、横浜市環境活動支援センターから緑地保全制度や森づくりボランティア制度など横浜の森づくりの概要について、丁寧な説明がありました。その後、「多様な市民参加の森づくりマネジメント」と題して、長年森づくりに関わる講師から「森づくりの魅力、里山の昔と今の違い」について話がありました。

市民とともに問題解決する森づくりや保全、里山へのかかわり方などを聞き、身近なテーマであることがよく伝わりました。



座学



森の観察と調査



道具の使い方と森づくり体験

## ここにみどり税

活動の基盤となる森の保全に加え、森づくり活動に取り組む市民や団体を対象に、活動のための知識や技術に関する研修を実施し、森づくりを担う人材を育成しています。



横浜みどりアップ 葉っぴー

## 「森づくりボランティア」とは？

市内の森で森づくり活動に個人で参加できる18歳以上の方を対象にしたボランティア制度です。登録いただくと、研修の案内や活動予定をお知らせいたします。

森について学んでみたい

もっと森の情報を知りたい

個人登録申請

制度や申請方法は



登録して森づくりボランティアになると



- 「森づくり研修の案内」や「よこほまの森ニュースレター」が届く
- 「森づくり体験会」への参加
- 森づくり活動団体加入への足掛かり

## 初開催！大学生限定「横浜市の森づくり塾！」

若い世代の森への関心を高めるために、大学生版の「森づくりボランティア入門講座」として、初めて実施した「横浜市の森づくり塾！」の2日目が令和4年9月中旬に緑区の新治市民の森で、開催されました。1日目の座学を終え、2日目は森に入って樹林の様子や森の保全計画を学びます。

森に入るとすぐクヌギなどの高木の群れとその手前に群生するホップに出迎えられました。森を進み足元に目をやると、コナラやクヌギなどの実(ドングリ)から発芽したかわいい葉っぱが生えています。人の手が行き届いた雑木林は明るく、ところどころに伐採された樹木の切り株からは萌芽が育ち、こうして森林の若返りを図っています。

一時間ほど歩きゴール地点では講師のアドバイスのもと、観察した樹林地の階層や環境について、図面に落とし込む作業を体験しました。測量機器を使わずに三角形の模型を使って樹木の高さを測る作業など、実践的な学びも多くありました。

参加した学生は、大学で造園や里山について研究をしているなど、様々な視点から「緑」に関心を寄せています。また市内に住む学生からは、「みどり税の必要性を改めて感じた」という声もありました。

## いろいろあります！「森づくり研修」

### 研修内容

ベーシック	森づくり概論	森づくり概論I	森づくり概論II	保全管理計画	意見交換会	フォローアップ研修
	安全管理	安全管理(装備・身体)	安全管理(動植物)	安全管理(救急・保険)	安全管理(KY事故事例)	森づくり体験会
	自然観察	自然観察(野草・樹木)	自然観察(昆虫)	自然観察(野鳥)	自然観察(冬芽)	インタープリター養成講座
	道具の使い方	カマ・ナタ	ノコギリ 剪定バサミ	ロープワーク	道具の手入れ	※左記のテーマに沿うもの
スキルアップ	作業実習I	草刈 ササ刈り	剪定・伐採 枝枯/玉切り	竹伐採 枝枯/玉切り	ロープシステム	
	計画・調査	モニタリング調査	植生・環境を読むI	植生・環境を読むII	作業計画の作り方	フォローアップ研修
	作業実習II	中木伐採II(ロープ使用)	竹伐採II(ロープ使用)	ロープシステム	湿地・水辺の管理	森づくり体験会
	間伐材活用	粗朶柵	土留め作成(発生材活用)	竹垣/竹箒 竹発生材活用	道具作成 発生材加工	インタープリター養成講座
チャレンジ	広報団体間交流	チラシの作り方	広報スキル	団体受入マナー	意見交換会	※左記のテーマに沿うもの
	団体・組織マネジメント	作業/イベントリーダー養成	安全管理者養成	団体・組織マネジメント	アドバイザー養成	インタープリター養成講座 ※左記のテーマに沿うもの

※研修は上記内容を組み合わせて実施します。

横浜市では森に関する知識や安全に活動を行っていたためにさまざまな研修を行っています。

森に関する知識、技術を学んでみてはいかがでしょうか。

※研修を受講するには森づくりボランティアの登録が必要です。



道具の使い方研修

自然観察講習会

森づくりボランティア以外にも、森を守る「市民の森」制度があります。4号で特集していますので、あわせてご覧ください。



【問合せ先】  
横浜市環境創造局みどりアップ推進部  
環境活動支援センター  
TEL:045-711-0635  
E-mail:ks-shiencenter@city.yokohama.jp

具体的な研修内容は  
こちら

